

電波時計（デジタル目覚まし時計）取扱説明書

取扱説明書番号 D052-CGXZ

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- カレンダー・温度・湿度表示
- 2つのアラームが使えます

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y0910)

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。
お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ101」をお伝えください。





お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)


ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


■表示の説明について


表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  警告
この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |  禁止
この表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  注意
この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |  強制
この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |


■誤飲による事故防止について

 **警告**
小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。


 **分解禁止**
分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 **注意**
本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

液晶表示板について

 **注意**
表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

■使用場所について

 **禁止**
下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

静電気の影響について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押ししてください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ 時間精度 表示精度 標準電波受信成功直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30 秒(常温中のクォーツ精度)	アラーム精度 表示時刻に対して±0秒 アラーム時刻 A,B 2つの時刻設定 アラーム音 電子音 A,B鳴り方が異なる スヌーズ機能 約5分停止 最大操作回数7回 自動鳴り止め 約2分でアラーム音停止 カレンダー 2009～2099年まで対応 六曜は2050年までの表示
使用電池 単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個 電池寿命 約1年 アラームを30秒/日、照明を3秒/日使用	温度表示 表示範囲 -9.9～+50℃ 表示範囲での精度 ±2℃
標準電波 カレンダー・時刻自動修正 受信局 福島局/九州局 自動選択 受信機能 ボタン操作でON/OFF切り替え 受信回数 8回/日 受信時刻 1時～4時、13時～16時の各時間帯の 16分40秒から受信開始	湿度表示 表示範囲 20～95% (温度が5～50℃の範囲にあるとき) 表示範囲での精度 ±10%
手動時刻合わせ ボタン操作	照明機能 ライトボタンを押してから約3秒間照明 時刻表示形式 12/24時間制切り替え 表示切替 時刻、日付、温湿度表示位置切り替え

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなることがあります。
40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 単3形マンガン乾電池 2個 取扱説明書・保証書 本書

※品名・型番 8RZ101
※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間お客様 ご氏名 _____ 様
ご住所 _____

TEL (_____) _____

※販売店印 (所在地、店名、電話番号)

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。 This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

■つぎのような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
 2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
 3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
 4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
 5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
 6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
 7. ご使用中に生じる外観上の変化（ケース、ガラスなどの小キズ）
 8. 電池の交換
- ※送料・出張料は、実費をいただきます。

電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう


- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かないところに置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について


- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。⚠ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
(例 . Panasonic オキシライド乾電池)


取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

- | | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------|
|  注意 | ●電池に傷をつけたり、分解しない。 | ●電池をショートさせない。 |
| | ●電池を充電しない。 | ●時計を使用しないときは電池を取り外す。 |
| | ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。 | |

液もれが起きてしまったとき


 **警告**
電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 **注意**
もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。
-  **注意**
火に入れると破裂の原因となり危険です。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

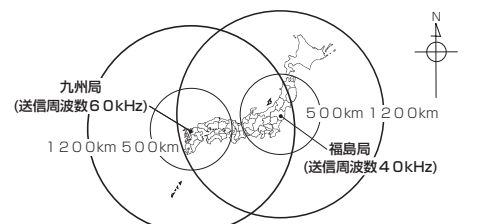
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10年間に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

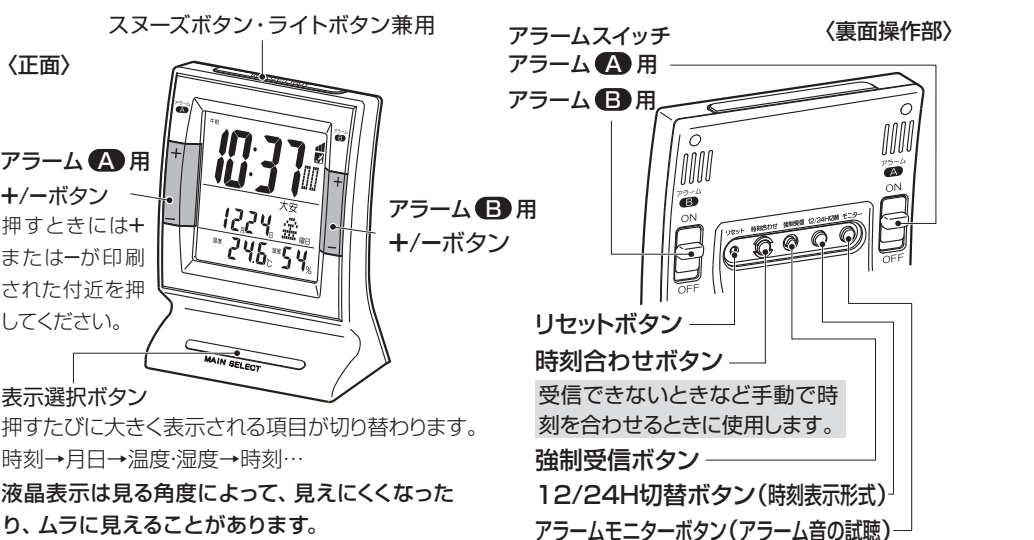


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

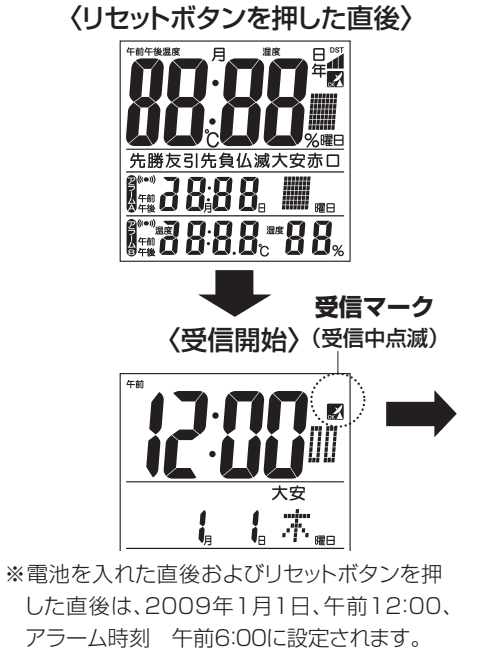
この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

1 電波を受信して時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



【受信の流れと表示】



標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせるときには、**標準電波を受信できない場合**の「手動での時刻合わせ」をお読みください。

- 電波の受信しやすい窓際などに置いてください。
- 電池ふたを取り外す
 - 電池を入れる
 - リセットボタンを押す
「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。「ピー」と鳴らないときは、電波受信機能がOFFになっています。
 - 電池ふたを取り付ける
 - 受信開始から21分後に受信結果を確認する
受信には最長で21分程度時間がかかります。【受信の流れと表示】参照
受信成功：受信マーク点灯
受信失敗：受信マーク消灯
- 受信中はボタンに触れないでください。

電波受信中のボタン操作について
電波の受信中に+または-ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない → 受信しやすい

チェック!
1～2分経過しても①または②の受信状態のときには受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

2 アラーム機能の使い方

アラームAとB、2つのアラームを使用することができます。
アラーム時刻を設定するときやアラームのON/OFFを切り替えるときには、アラームA/Bそれぞれの+/-ボタン、アラームスイッチを使い分けてください。

- スヌーズボタンやアラームモニターボタンはA/B共通です。
- アラームの時刻合わせの操作はAとBを同時にはできません。
- ▶2つのアラーム時刻が重なったときは、Aが優先されます。
- ▶アラームが鳴っているときに、もう一方のアラーム時刻になったときは、後からのアラームが鳴り、スヌーズ機能とアラームオートストップ機能は、後のアラーム時刻が対象になります。

◆操作説明の例は、アラームAを使用しています。

アラーム時刻の合わせ方

〈表示例〉
アラームスイッチA/BがOFFのときに、アラームAのアラーム時刻を設定。



アラームのON/OFF設定

〈表示例〉
アラームA ON、アラームB OFF



操作するときには、アラームA/Bそれぞれに対応した+/-ボタンを使用してください。

- ①+または-ボタンを押す
アラーム時刻が点滅します。
- ②アラーム時刻を合わせる
+または-ボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押し続けると速く変わります。
- ③約5秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終了します。

アラームスイッチ ON：設定時刻にアラームが鳴る
○アラームマーク点灯 (●●)
アラームスイッチ OFF：アラームを止める、鳴らさない
○アラームマーク消灯 (○●)

アラームスイッチをONにすると、常時アラーム時刻を表示します。現在時刻・月日・温湿度のいずれかが表示されなくなります。

左図の例では、日付が表示されていません。
表示されない項目を表示させるには、
▶表示選択ボタンで切り替える→**表示の切り替え**
▶アラームスイッチAまたはBを一時的にOFFにする

アラームオートストップ機能 自動鳴り止め

鳴っているアラームを約2分間放置すると停止します。

スヌーズ機能 止めてもまた鳴る

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク(●●)が点滅し、アラームが約5分間停止後、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止してアラームマーク(●●)は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

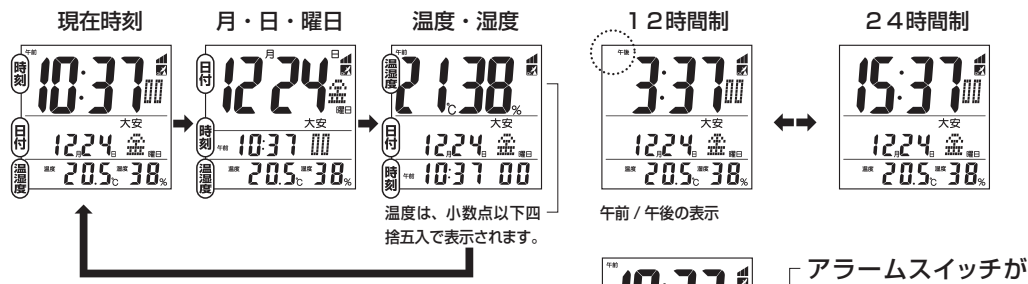
アラームオートストップまたはスヌーズ操作によりアラームが自動停止しても、アラームスイッチはONのままです。不要なアラームが鳴らないようにアラームスイッチをOFFにしてください。

アラーム音の確認方法

アラームモニターボタンを押すとアラームが約2分間鳴ります。鳴っているときに、アラームモニターボタンを押すと止まります。モニターの対象は、アラームスイッチがONになっているアラーム音です。A/B 2つともONまたはOFFときには、Aのアラーム音が鳴ります。

A 表示の切り替え

表示選択ボタン 時刻/日付/温度・湿度表示切替
◆表示選択ボタンを押すと、時刻/日付/温度・湿度の表示位置を切り替えることができます。



表示選択ボタンを押すたびに切り替わります。
●表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻およびカレンダー・時刻の設定中は切り替わりません。

六曜について

旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。六曜の表示は2009～2050年まで表示します。2051年からは表示しません。西暦2033～2034年については、旧暦(天保暦)の月名を決める法則では、月名が決定できなくなるため、代替の基準を適用しています。このため、六曜の表示が他のカレンダーと異なることがあります。
※六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。

B 温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度 [HH.H] 50℃より高温 「LLL」 -9.9℃より低温
湿度 [HH] 95%を超えている 「LL」 20%未満 「-」測定不能(温度が5～50℃の範囲外)

設置場所について
空気がよく循環する場所に設置してください。
直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

湿度は設置場所により変わります
湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでます。
※本製品は室内用です。室内の温度・湿度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

C 表示面の照明

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと約3秒間、液晶表示面を照明します。照明されているときには、時計正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読み取れないことがあります。

D 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン
場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。

- 受信機能が無効のときは、機能しません。
- 手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。
- 強制受信の受信時間は最長で22分程度です。

リセットボタン
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2009年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。

- 受信機能が有効になっているときは、受信を開始します。

E 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF(無効にして手動で時刻を合わせる) 受信機能 ON(有効にして受信を開始する)
リセットボタンを約1秒間隔で3回押ししてください。-ボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴ったらすぐに押ししてください。
○受信機能がOFFになると「ピー」と鳴りません。後に-ボタンを離してください。
○年月日と時刻は手動で合わせてください。 ○定期的に受信して標準時刻に合わせます。

○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
○工場出荷時の設定は、電波受信機能は有効(ON)になっています。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用するときには、電波受信機能を無効にして手動で時刻を合わせてお使いください。電波受信機能が有効になっていると、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。